

防災・減災体制の強化

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第22回の今日は、「防災・減災体制の強化」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 今年度の総合防災訓練は静岡県、函南町と合同で実施されると伺いました。それではこの訓練の概要について教えていただけますか。

市長： 静岡県、三島市、函南町総合防災訓練を9月1日の日曜日、午前8時30分から、南二日町広場を三島市のメイン会場にして、市内35箇所で実施いたします。

三島市での静岡県総合防災訓練の開催は、34年ぶりであり、例年に増して、多くの関係団体に参加いただく大規模訓練となります。

アナ： メイン会場となる南二日町広場ではどのような訓練を実施するのでしょうか。

市長： 南二日町広場では、実動訓練として、崩れたビルを再現した中での救助犬と警察の連携した救出訓練、三島消防署に配備されたはしご車による救出訓練、建設関係団体による車両除去訓練、土砂・倒木除去訓練、陸上自衛隊による車両からの救出訓練などを実施します。

また、自衛隊の装備品展示、医師会、歯科医師会、薬剤師会による災害時医療救護活動の啓発、災害時のトイレ対策や関係団体・事業者による災害時の取組などの展示・啓発ブースの出展も行われます。

アナ： 例年と違った訓練はあるのでしょうか。

市長： 建物の応急危険度判定訓練については、例年会場で被災家屋の模型を用いた被害状況の判定を行っておりますが、今年度はこの判定訓練だけでなく、判定活動の初期段階からの訓練を追加し、より実践的な訓練を実施します。

アナ： 見学で会場に来られた皆さんも参加できる訓練はあるのでしょうか。

市長： 放水体験やスモークハウス体験、重量物除去講習、ドローン操縦体験など多くの体験ブースの出展も予定しておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと思います。

アナ： 市内35箇所で訓練を実施するとのことですが、メイン会場の南二日町広場以外ではどのような訓練を実施するのでしょうか。

市長： 市内すべての指定避難所において、自主防災会の皆様に避難所開設訓練を実施していただきます。また、

市民体育館では、県と連携した救援物資受入訓練

北上公民館では、遺体収容所運営訓練

JR三島駅・市民文化会館・県立三島長陵高校では、帰宅困難者の避難誘導訓練

そして、三島市立保健センターでは、身近なものを使った応急手当やAED体験などの医療救護体験、地震体験車や地震ザブトンを使用した大地震の揺れの体験、

住宅の耐震相談を実施します。

そのほかにも、特別養護老人ホーム南二日町さん、横浜ゴム三島工場さんの施設でも訓練が予定されています。

アナ： 保健センターの会場では、住宅の耐震相談を行えるとのことですが、どのようなことが相談できますか。

市長： **住宅の耐震性に不安のある市民の皆様を対象に、昭和 56 年以前に建てられた木造の住宅については、市が専門家に委託して無料で行う耐震診断や、65 歳以上の高齢者の方だけでお住まいであれば、診断に加えて、建物の補強計画の作成までを無料で行う制度がありますので、耐震補強工事等をされていない方はぜひご来場のうえ、ご相談いただきたいと思います。**

アナ： 自宅のブロック塀の相談もできますか。

市長： **昨年 6 月に大阪北部で発生した地震ではブロック塀が倒壊したことにより、小学生が被害にあうといった痛ましい事故が起きました。**

これ以降三島市でも、ご自宅のブロック塀の安全性に不安のある市民の皆様から、非常に多くのご相談をいただき、今もなお、多くのお問い合わせがあります。

この相談窓口ではブロック塀についての相談も行っておりますので、不安に感じている方はぜひご利用いただきたいと思います。

アナ： 様々な団体が参加し、また、市民の皆さんが体験・相談できるブースが多く出展するなど、大規模な訓練になりそうですね。

市長： **平常時・災害時の取組や対応について考え、学ぶ機会としてぜひ、多くの市民の皆様にご来場いただけることを期待しております。**

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： **ありがとうございました。**